



「ただいま〜!」
「おかえり〜! 今日はどこ
行ってたん?」
三歳になってますますおしゃ
べりになった娘が元気いっぱい
に空堀商店街にある果物屋の店
主と挨拶を交わす。いつの間に

からほり新聞

からほりが子供を育てる

人の大切さを教えてくれる町

か母親以上に仲良くなった
娘。そんな姿を私はいつも、微
笑ましく、頼もしく見守ります。
現在、空堀で三歳と十ヶ月の
娘を育てています。
空堀は大阪という大都会の中
で戦火を逃れた長屋が立ち並び
村のような雰囲気。不思議なこ
とに車の音より鳥や風の音、近
所づきあいの笑い声が聞こえて
くる街です。
もともと東京で仕事をし、結
婚で大阪に来て住居を探してい
ました。その時、旦那さんが「松
屋町や谷町は古い町並みが残っ
ていて、雰囲気がいいから!
一生住むなら絶対ここ!」
と言われ住み始めたのが空堀で
した。

引越したのは2011年の
8月。上の娘が七ヶ月の頃でし
た。若い、よそ者の夫婦は厄介
払いされるのではないかと不安
な気持ちでしたが、思いのほか
温かく迎え入れてくれました。
同じ班の人に引越しの挨拶に
行ったとき、「若い人が引越
して来てくれて嬉しいわ! 大
阪をよろしく!」という歓迎の
言葉が印象に残っています。
それから、新米ママでおずお
ずとベビーカーを押している私
たち家族を空堀はずっと見守っ
てくれています。
散歩がてら訪れる「からほり
さろん」では、トイレを借りた
り、お茶をいただいで子育ての
難しさを相談します。
また、大阪が全国でダントツ
に多い子育て支援施設、つどい
の広場の一つ「田中キッズクラ
ブ」で折り紙を教えてください
ばあちゃんと知り合いました。

雛人形や鯉のぼり、寿鶴など
いろいろな折り紙を教えてください
私自身が童心に戻ったような気
持ちになります。
核家族でお互いの両親が遠方
にいる私にとって、娘のわがま
まを柔らかく受け入れてくれる
「おばあちゃん、おじいちゃん」
という存在は心の成長にとても
有意義なものです。
そして、娘だけでなく私自身
も癒され、励まされ、日々の生
活がより豊かになっていくこと
を実感し感謝する日々。助けら
れていることへの恩返しは、そ
の気持ちを受け継いで、我が子
にも伝えていく。
空堀は私が子供に一番、伝え
たい「人」を大切にすること、
人間社会でもっとも大切なこと
を身をもって教えられる街だと
思っています。
(自転車ジャーナリスト・岡田
由佳子)

第30号
(2014.6.12)

「空堀界隈を散策される皆様へ」

- ◆路地の奥は私有地が多いのでご注意ください。
- ◆美しい石畳や木造家屋に「ミ」は似合いません。
- ◆商店街は生活の場でもあります。節度とマナーで笑顔が増えます。

☆編集後記

◆冷蔵庫で連休中眠っていた
玉造瓜の種を水に入れると
早、芽のようなものが出てい
る。よほど寒い思いを種はし
たのだろうか? (ケラコ)
◆あつという間に春が来て、あ
つという間に春は過ぎます。
異常気象のせいか最近特に春
が短い気がします。しかし、
余計に春が愛しくなります。
(朝霧和)
◆だんだんと雨が多くなり、
夏が来る。今年は去年より暑
さがましでありますように:
(岡田)
◆おら空堀まつりも大盛況の
うちに終わりました。当日の
様子をFacebookに掲載し
てます。「空堀商店街情報」
と検索!(のぶ)
◆上町中の車いす体験授業、
町歩き、手伝い。事故を恐れ
出ないのが普通、勇気ある取
り組みに拍手。(や)
◆近所の知人宅でお花をもら
って来ます。食事会の時の話
題になればいいな。(河野)

会のお知らせ

当会は寄付が主な活動資金です。
この度イオングループのKOHYO空堀店様のご支
援を頂くことになりました。毎月11日黄色のレ
シートを備え付けのボックスに入れて頂くと売り
上げの1%が高齢者外出介助の会に還元されます。
皆様ご協力お願い致します。

の読み聞かせ・紙芝居・手遊び

■ひなたぼっこ

▶パッチワーク教室 第1・第3木曜日▶13時~16
時▶ケーキセット付2,500円▶初心者歓迎
▶初夏の味噌作り・ステンドグラス作りもやってい
ます▶問い合わせ:06-6768-1882

■隆祥館書店

▶経営コンサルタント川上徹也さんによる経営セミ
ナー▶6月7日(土)▶19時~▶参加費:1,500円
▶元アナウンサーの村上信夫さん、絵本作家長谷川
義史さんによる絵本のフォトライブショー▶19時~
▶参加費:大人2,000円、小人1,000円▶問い合わ
せ:06-6768-1023

お買い物は空堀商店街で

特定非営利活動法人

高齢者外出介助の会とは?

お年寄りの皆さんに、より楽しく充実した日常
生活を過ごしていただくため次のような活動
をしています。

- ①外出介助(買い物、お墓参り、通院など)
- ②暮らしサポーター(買い物、薬取り、入院時
支援など)
- ③車椅子貸し出し(お気軽にご利用下さい)
- ④生きがい作り講座(童謡・唱歌を歌う会、布ぞ
うりなど)
- ⑤ハーモニカ教室
- ⑥「からほり新聞」制作

お気軽にお問い合わせください。

大阪市中央区松屋町4-8 メイツ松屋町1階

TEL&FAX 06-6764-4002

月~金(10:30~15:00)

E-mail: odekake@helen.ocn.ne.jp

ホームページ: odekake-karahori.com

マリンバを楽しみませんか?

毎週木曜日「からほりさろん」で教室をしています。
見学・体験(1回)大歓迎!!
詳しくは外出介助の会でお問い合わせください。

指導:北口 桂

「箏・三絃」教室

箏曲:生田流 三絃:九州流
古典・新曲・現代邦楽など、どの分野でもお教えします。

講師 ◆稽古日:相談 月謝:5,000円

門脇 裕子 ◆お問い合わせ:TEL06-6761-6189

だんだん軍靴が粗末になっていった記憶

〔平田邦夫さん 昭和六年生まれ〕

金甌（きんおう）尋常小学校（現在の中央小学校）に入学しましたが、いつのころからか「国民学校」と呼ばれていましたね。満十三歳で終戦を迎えたので、ギリギリ戦争に行かなかった世代ですが、周りからは「なぜ志願しないんだ」と言われました。

覚えているのは、小丸丸のビル（現在の大丸の南側）で徴兵



浜寺水練学校の身分証明書

検査をしていたことです。そのビルから出てくる入隊した人の穿いている靴がだんだん粗末になっていった。一月は牛革、三月は馬皮、六月は地下足袋で、終戦直前の七月にはズック型の地下足袋でした。だんだん戦局が悪くなってきたのは誰の目にも明らかでした。軍事教練で匍匐（ほふく）前進をしても、服の質が悪くてすぐに破れてしまいました。大きな声では言えませんが、友達とは「もうアカンな」って言っていました。

その頃やっていた防火演習ですが、二メートル半の櫓を組んで、その上に四斗樽を据えて、バケツリレーをしていました。そこを目がけて水をかけるんです。その中にどれくらい水が入るか競争訓練でした。戦争中は良くないことですが、戦争中の地域の結束力は高かったと思いま

すね。

此花区の工場に学徒動員に行っていました。もうあまり誰も覚えてないと思いますが、鼠島というところが現・福島区にあつて、コレラ患者を隔離していたようです。B29が森ノ宮に落ちたのは記憶にあります。

今NTTがあるところは、お寺と東洋印刷という会社がありました。その道で大八車に水が出るタンクを積んで水を撒いていたおじさんがいましたね。

昭和二十年三月十三日の空襲で自宅の道を挟んで南側は全部燃えました。その日のことは覚えていません。起きた時に家の前が騒々しく、前の道を西からたくさんの人が上がってきた。これは寝ていたらアカンと思って服を着ましたが、その時にボタンを留める手が震えてうまく留められなかったのを覚えていま

す。そのとき五分か十分か風向きが変わらなかつたら確実に家は焼けていると思います。前家は焼け落ちそうになって、私たちは竹のはしごで倒れそうなるのを支えていました。今住んでいる家は明治三十八年の建築です。最初は五軒長屋でした。他は建て替えているのでこだけ残りました。ちなみに、昭和六年からタバコ屋、平成五年からお好み焼き屋を始めます。

この瓦屋町の事を語れる人がだんだんいなくなって、私の記憶の中にある話を証明するのも難しくなりましたね。

（聞き手…河野いづみ）



現在の瓦屋町の風景



ケラ子の介助日記

一緒に住めなくなる？

高齢者外出介助の会 事務局長 永井佳子

Aさん夫妻が夜の食事会に来られなかったので、気になってメールすると主人が入院をしたと返信が来ました。早速、訪ねると肺炎というので、口に酸素マスク、鼻から経管栄養の管、手もモニターと管でつながっています。身動きなどできそうもありません。細い足が布団の外に出ています。歩かないので筋肉が落ちたのでしょうか？

試験はまだ続きがあり、奥さんが家で転び骨盤骨折で別の病院に入院されました。見舞うと「こけなければよかった」とため息ばかり。ご主人のことが心配なのでしよう。

数日後にお嫁さんが来られ「父は胃瘻をしないと栄養が取れない」と言

われ、「こんなに悪いと思っていなかった。母も父のこの状況を理解できるか心配です」。息子さんたちは長崎に住んでおられ何かあると夜行バスで来られています。「父たちが退院したら自分のちの近くに住んでもらおうと話していたのに、仕事をしながら四六時中支えることはできなくなつた」また胃瘻と聞き不安が胸いっぱいになっているのか、涙が頬をつたっています。

Aさんたちはとても仲のいいご夫婦で、支え合って暮らしておられます。何かあれば生きる力がなくなると案じていました。高齢者が入院し病気が治っても暮らしが続けられない。仲良し夫婦が一緒に住めないのは悲しいですね。



街のおじさんから

高齢や障害で車いす生活になることは誰にでも起こるかも…。でも車いすからは世の中がよく見えてくる。そんなおじさんの考えたことを連載で。

この前うちの町会の班でちよつとした騒ぎがありました。うちの班は空堀商店街の南側の路地の住民12軒で、商店街からは急な坂道が主要な出入り通路になっています。その8mほどの通路に商店街の4軒の店舗の裏側が接しています。

の土地に構造物を無断で作られたことを、見逃せないという意見もあり、撤去を申し入れたのです。商店主は「善かれと思つてやったのに」と困惑し、当初良い対応をしなかったで騒ぎが大きくなり、申し入れをしていた住民の方も少し感情的になってきていました。

商店の一つが改装工事をしていて、かねてから苦情の多かった排水溝の溢れ防止のために、少し大きめのコンクリート縁を作ったのです。ところがその縁は、共有の路地に、土地の共同所有者である班の住民には何の事前相談もなく、勝手に作られたのです。

「善意でも路地は共有の私有地であり、勝手に構造物を作つてはいけません。路地ではみんなが、とても気遣いながら暮らしているのに配慮をしないと」と説得。店主は謝って縁を撤去し、一件落着。空堀の路地は道路でなく私有地なので、見学にも配慮が要りますので、ご注意ください。（山名勝）



地域の福祉、みんなで参加

●地域の福祉の充実に、みなさまのご支援をよろしく願い致します。共同募金は、10月1日～12月31日の期間ですが、年間を通じて寄付金を受付しています。●大阪府共同募金会事務局は、谷町7丁目交差点を信号1つ西入ルの大阪社会福祉指導センターの2階にあります。どうぞよろしく。●ホームページをぜひご覧下さい。http://www.akaihane-osaka.or.jp

ボランティア募集!!

外出に同行してくださるボランティアを求めています。

病院・美容院・買い物などいっしょに楽しみませんか。

お問い合わせは **高齢者外出介助の会**
電話：06-6764-4002

からほい界隈お散歩MAP



其の27 ～素敵な隠れ家編 パート2～

今回は素敵な隠れ家第2弾です。ちよつと見つけにくい場所ですが、やっていると改装して自分のお店を持つて頑張っている若い人たちを応援したいと思っています。お店と店のつながりで「あそこへも行ってみたら？」とか、「あそこへお客さんがウチにも立ち寄ってくれませんか」と、自分の知らないお店の情報も聞かすのを楽しみます。

★ warble - 22家



服と器のセレクトショップ。カフェスペースもあり。
時間：11：00～22：00 定休日：火（祝日は営業）
電話：06-6763-3460

★ osampo



路地裏の黄色い壁のおうちオリジナルの洋服、作家さんの雑貨など。
時間：12：00～19：00
営業日：水・木・金
電話：090-4490-2088

★ KOHAKU



串料理。時々ワインとチーズの会をしています。
時間：17：00～0：00
定休日：月・第3火
電話：06-4304-0788

★ uncle green



お店の奥にある工房で作られた帽子や小物。地球儀型の帽子が回っています。
時間：11：30～19：00
定休日：火・水
電話：06-4303-4353

★ Primrose Closet



アクセサリや靴や小物のセレクトショップ。6月末に路面店も出します。
時間：11：00～19：00
定休日：水
電話：06-6777-6701

★ Finch



帽子、ウエア、クラフト雑貨のお店。オリジナルテイベアがかわいい！
時間：12：00～20：00
定休日：水
電話：06-6761-8282

★ さるやみ堂



古本と猫雑貨と喫茶 古い駄菓子屋さんのガラスケースに古本が入っています。
時間：11：30～23：00
定休日：月・祝
電話：06-6770-5269



マヤさんとダンスの出会い
は幼少の頃までさかのぼります。
まず、アイドルの振り真似を
することからダンスに興味を
覚え、持ち前の凝り性からクラ
シックダンス、モダンダンス、

ジャズダンス、など様々なダン
スを追求して行く中ベリーダン
スに出会いました。
人生の中で一番自分を表現で
きるものがベリーダンスと感じ
ました。スタジオを経営し、今

でも講師として活躍されて
います。
一九九四年
に吉本興業か
ら「マリーミン・
マヤ&EYE
S」として舞
台デビュー。
それから、テ

レビヤラジオのレギュラー出演
やイベント、舞台などのキャリ
アを重ねてきました。
現在は「MAYA BELLY
EARTH COMPANY」を起業
し、ベリーダンスの講師をされ
るだけでなく、エジプト大使館
によって認定された「エジプ
ト・アラブ文化研究所」として、
エジプトと日本の国際交流の架
け橋としても活躍されています。
古代より人は、絵を描き、歌
を歌い、踊りを踊ってきました。
人の魂を揺さぶるものを、古
代の人は頭ではなく体で知って
いたのかもしれない。
ベリーダンスはその古代、エ
ジプトを発祥とした踊りの一つ
です。ベリーはお腹を意味し、
「女性がもつとも女性らしくな
れる踊り」と言います。
ベリーダンスは、裸足で踊る
ことによって足底筋が鍛えられ
体の歪みが解消され、体幹が鍛
えられる。腰や首をつかって踊
ることによってリンパの流れが
促進され、心も元気になり、美
しくなる、とマヤさんは言いま
す。



(大阪文学学校・朝霧和)

そしてマヤさんのちよっとし
た立ち居振る舞いの中に音楽が
聞こえてくるようです。
谷町筋にあるダンススタジオ
にはベリーダンスの衣装が掛け
られ、マヤさんの雰囲気とも
に非日常の空間を作り出してい
るようです。また、ピラミッド
の置物、ラクダのぬいぐるみ、
パピルスなどのエジプトグッズ
も置いてあります。
「空堀地域の方と交流したい
ので、ぜひ気軽に覗きに来てく
ださい」

快傑！からほり人 快傑ファイル其の二十五

ベリーダンスが私の全て

ベリーダンスダンサー マヤ・ガミィラさん

エジプト大使館公認エジプト・アラブ歴史文化研究所とし
ても活動しているベリーダンススクール主催のマヤさん
にお会いしました。

「ぶら空堀まつり」レポート！

勝手にからほり雑見ニュース

五月十日、十一日、ぶら空堀
まつりに参加しました。大阪市
営地下鉄の Mascot キャラク
ターにゃんぱろう君も現れて、
割烹着と着物姿のスタッフの方
たちと共に空堀の魅力を伝えて
くれました。

十日には元気の良い阿波踊
り、十一日にはセクシーなベ
リーダンスが祭りの雰囲気を盛
り上げてくれました。
私が参加したのは丸与ホール



▲大阪市営地下鉄の Mascot にゃんぱろう

での「母の日文章講座」です。
あらかじめ募集した「お母さん
へのメッセージ」を素材に大阪
文学学校の小原事務局長に文章
を書くコツを教わりました。直
木賞を受賞した朝井まかてさん
の修行時代のお話もあり、受講
者の皆さんは興味を持って聞い
ておられました。
土・日の二日間参加して感じ
たのは、日曜日に閉めているお
店が多く、淋しいなと思いまし



▲ベリーダンス

た。この地域を盛り上げたいと
参加されていたボランティアさ
んとは、温度差があると感じま
した。私も普段行かないお店に
足を運んでみましたが、目当て
のお店が2軒とも休みで、残念
でした。地下鉄の全駅にもポス
ターを貼っていたので、日曜日
に来られた方がシャッターを見
て失望されたのではと気になり
ました。
しかし、定休日なお祭り



▲大阪文学学校「母の日文章講座」



▲阿波踊り

のためにお店を臨時で開けるの
も確かに大変です。今後の課題
ですね。(河野)